



法務大臣賞を受賞

なかのきみこ 中野喜美子さん（西桜谷）が、35年間にわたる更生保護活動の功績により法務大臣賞を受賞されました。

中野さんは、犯罪予防のための地域での取り組みや、罪を犯した人や非行のある青少年への寄り添いを通じて、悩みに耳を傾け、社会復帰への支援を続けてこられました。厳しい環境下での活動を通じ、青少年の孤独感の緩和等に尽力され、地域社会の安全等に大きく貢献されました。今後も更生保護活動の推進に取り組まれることが期待されます。

このたびの受賞、誠におめでとうございます。



ずいほうそうこうしょう 瑞宝双光章を受章

ひがしかわ かいち 東川嘉一さん（必佐）は、平成13年から現在に至るまで25年以上保護司として活動しておられ、このたび、春の瑞宝双光章を受章されました。

保護司は、罪を犯した人や非行に至った人たちの立ち直りを地域で支えるボランティアのことです。再犯や再非行を防ぐことで、新たな被害者や加害者を生まない安全で安心な地域社会を築くことに取り組まれています。

また、地域の犯罪や非行を予防するため、小・中学校での朝のあいさつ運動や下校時の見守り活動等を行っておられます。

今年2月には日野地区保護司会の活動拠点として、役場敷地内にサテライト型更生保護サポートセンターが設立されました。東川さんはこのサポートセンターの設立にも関わってこられ、町内の安全安心なまちづくりに貢献されています。

このたびの受章、誠におめでとうございます。



寄付・寄贈のお礼

中学校に 教育振興備品を 寄贈いただきました

7月1日（水）、日野町ゴルフ協会様から、34万円分の中学校教育振興備品を寄贈いただきました。これは、蒲生ゴルフ倶楽部で開催された「日野町ゴルフ協会チャリティゴルフコンペ」の参加者304名と町内3か所のゴルフ場から寄せられたもので、コンペ当日に北村校長に目録が手渡されました。

日野町ゴルフ協会様からはこれまでも町内の小学校や図書館、幼稚園、保育所などにも寄付・寄贈をいただいており、今回で21回目となります。

大切に活用させていただきます。

ありがとうございました



国際大会で初優勝

なかにしひろこ 中西紘子さん（必佐）が、5月17日（日）～22日（金）にドイツで開催されたフィギュアスケートのマスターズ大会「国際アダルト選手権」において、女子アーティスティック部門で初優勝、フリー部門で準優勝を果たされました。世界の元トップ選手も出場するハイレベルな国際大会で、表現力と安定した演技が評価されました。

帰国後、大会の報告に来庁され「いくつになっても挑戦することの大切さ」や、今後もさらなる演技の完成度をめざして練習を重ねていく決意を語られました。



第44回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

6月14日(日)、消防器具の安全な操作を身に付けることを目的に、日野消防署でポンプ操法訓練大会を開催しました。選手の皆さんは、団員やご家族からの声援を受け、訓練の成果を遺憾なく発揮され、どのチームも見事な操法を披露されました。団員の皆さんは、実際の火災現場でも訓練の成果をいかして被害を最小限に抑える活動をしていただいています。

この大会は、団員を支えるご家族や地域、職場の皆さんのご理解とご協力に支えられて開催されています。

大会結果

□ポンプ車の部

優勝 第1分団24

熊捕教文さん(鎌掛)
坂田 滋さん(西大路)
安田諭司さん(日野)
岡崎佑哉さん(日野)
西岡純矢さん(鎌掛)

□小型ポンプの部

優勝 第3分団Aチーム

飯山尚輝さん(南比都佐)
藤田真也さん(南比都佐)
藤沢克彦さん(必佐)
坂口克哉さん(必佐)



ポンプ車の部優勝



小型ポンプの部優勝

問

総務課 総務担当 ☎0748-52-6500

地域おこし協力隊活動記

町では、「地域おこし協力隊」の廣瀬圭さんと西川みさ枝さんの2名が「移住・定住の促進」や「関係人口の創出・拡大」に関する施策の企画・推進に取り組んでいます。

このコーナーでは、地域に根差し、新たな風を吹き込む隊員の活動や思いを紹介します。



3月から活動している地域おこし協力隊の西川です。移住促進の目的で、お試し移住などの仕組みづくりを行っています。

日野菜の赤紫と白の鮮やかな色合いが目を引き、日野菜の歴史にも興味があり、着任してから何でもやってみようという思いから、農業にチャレンジすることにしました。町に伝統野菜があることは大変誇らしいことで、移住希望者に収穫や自然体験ができる企画を考えたいと思い、日野菜の収穫を体験してきました。

鎌掛の農家さんから日野菜の生産の流れを教えてくださいましたが、温度管理や肥料のあげ方、収穫の方法は、農業に関わることが初めての私にとって、これまでにない特別な体験でした。

畑に行って、まず間引き作業です。抜いてみると、約5cmの小さな日野菜がすでに形になっています。そして、追肥・中耕・土寄せです。株間の土の中に空気が入るよう耕し、山を作る感じで株元に土を寄せ、肥料を効果的に吸収させます。



みんなで収穫した日野菜

収穫の日は、早朝4時半に畑へ。収穫できそうな太さ、葉っぱの数で目処をつけ、グリグリと回しながら、抜いていきます。スポッと抜けるとちょっとした快感です。葉についた朝露が日の出と共に輝きはじめ、美しい光景を見ることができました。

漬物が定番の日野菜ですが、教えてもらった食べ方が、シンプルに塩とオリーブオイル。自分で収穫した日野菜だけに、格別においしかったです。

土に触れ、山に囲まれた自然の中での体験や日野菜の魅力をさらに広めていき、多くの人を引き付けたいと感じた一日でした。

問

企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552